

2023 年度第 22 期日本比較内分泌学会役員会報告

日時：2023 年 11 月 17 日 11:00-13:00（九州大学西新プラザ）

出席者

幹事：飯郷雅之、井尻成保、上野山賀久、浮穴和義、馬谷千恵、大久保範聡、岡田令子、荻野由紀子、亀井宏泰、神田真司、小林勇喜、佐竹炎、清水宗敬、永田晋治、原口省吾、水澤寛太、山口陽子（書記）

監事：南方宏之、齋藤祐見子

報告事項

以下の報告事項・審議事項に関して、資料は本議事録後半の総会資料に基づく。

1. 会員異動

- ・賛助会員について：全薬工業株式会社の退会に伴い、2024 年度は 4 社となる。

2. 2023 年度事業報告

- ・資料に示されたとおりの報告があった

3. 各種委員会報告（協議事項がある場合、委員会名に続き括弧で示す）

3-1. 学術企画委員会

- ・資料に示されたとおりの報告があった

3-2. 若手交流企画委員会

- ・資料に示されたとおりの報告があった

3-3. 出版委員会

- ・資料に示されたとおりの報告があった

3-4. 学術誌編集委員会「若手奨励事業への応募期限延長について」

- ・原案の「1 年」は長すぎるという意見があり、議論の結果、「原則として、論文発表後 3 ヶ

月以内に応募し、その後 3 ヶ月以内に原稿を投稿する（その後は編集委員の裁量によりべ切延長を認める）」ことが提案された。

・現行制度の問題点として、応募数が少ない（最大 30 件まで実施可能だが、2022 年度は 4 件のみ）ことが指摘された。

…「PI が多忙のため、書類確認を頼めない」という理由で応募を断念するケースが多い／学生による自発的な応募が増えないのは、論文投稿雑誌のレベルを気にしているからでは？

→本事業について、PI・学生の双方に周知していく必要がある。

…具体的な対応：HP でわかりやすい場所に情報を出す／ML で定期的（3 ヶ月ごとなど）にアナウンスする／若手交流企画内で周知&応募者を募る

・監事から見ると、きちんと予算が執行されていないのであれば、予算減が妥当であり、現状を打開するために努力が必要である。

・上記に加え、若手奨励事業以外でも「比較内分泌学」への投稿が少ないため、積極的に投稿してほしいとの要請があった。

3-5. ホームページ委員会「学会 HP の学会賞のページに GCE 総説のリンクを記載することについて」

・出席者全員の賛同を得た。

3-6. ダイバーシティー&インクルージョン委員会

・本大会 2 日目のダイバーシティー&インクルージョンセミナーでは、Google Form を用いて会場から質問を受け付ける旨の案内があった。前回大会と同様、セミナー内で回答できなかった質問については、後ほど講演者の回答を公開する。

3-7. 国際委員会

・資料に示されたとおりの報告があった

※9th Congress of the Asia Oceania Society for Comparative Endocrinology の開催期間についてご存じの方がいたら、情報をお寄せいただきたい。

3-8. 生物科学学会連合

・特記事項なし

3-9. 将来構想委員会

- ・特記事項なし

3-10. 学会賞選考委員会

[小林賞について]

- ・小林賞について、同賞に関する細則に悖る応募が多いとの報告があった。応募者と推薦者の双方に対して「細則を熟読する」よう周知する必要がある。
- ・上記に関連して、HPには細則が掲載されていない（表彰規定のみ）ことが指摘された→早急に掲載する（※ホームページ委員会で対応済み 23/11/20）
- ・一昨年度の細則改定に伴い、小林賞の応募年齢幅は狭くなり、応募が難しくなった（「現役で成果を出していて、今後10年頑張れる人」を求めているため、40代&60代前後や、研究活動にブランクがある人は応募できない）。過去の功績を称えるために、功労賞を設置するのはどうか？（賞金無し・賞状だけということにして）
- ・（上記に関連して）功労賞の代わりに、名誉会員に推薦するのはどうか？「故人も名誉会員に推薦することができる」と規定を改定すれば、シンプルな解決策になるのでは？
- ・小林賞と功労賞／名誉会員の窓口を一緒にするとよいのではないか？
- ・名誉会員は「栄誉」、功労賞は「受賞」であり、扱いが異なる。それぞれの定義を明確にした上で、まずは将来構想委員会で検討すべき案件。いずれの場合も、最終的に総会での議決が必要。
- ・これらの議論をうけて、将来構想委員会で検討することになった。

[若手奨励賞について]

- ・若手奨励賞は「原則1名」であるにも関わらず、近年はほぼ毎回2名が受賞しているが、問題はないのか？
- 「実際に甲乙つけがたい場合は仕方がない」「選考委員は奇数名なのだから、多数決をとるのも一案では」との意見があった。
- ・本年度受賞者の谷崎氏の受賞理由について、修正の提案があった（※選考委員長に各2語、総会時には修正済みのものを提示した）。

4. 会計報告

亀井会計幹事より資料に基づき会計報告があった。

[現状について]

・多額の余剰金が生じている。

→考えられる対応：大会運営補助金を10万円程度上げる？（学生参加者への補助等、一番会員に還元できるのでは；特に地方開催の場合、10万円では講演者1人しか呼べない）／数年に一回の大きいイベントの際の参加費等補助を充実させる／各委員会の補助金も上げてもいいのでは？

・安定した学会運営について：現状、学会員は増加しておらず、物価高が続いている。今は余剰金があっても、将来的に財政状況が悪化する可能性はある。今後のために、余裕があるうちに会費増額（～1000円程度）も考えておくべきでは？

→要検討（ちなみに、大会参加費については昨年1000円の値上げを実施した）

・学会運営・収支のビジョンや理屈について、シミュレーションや具体的な数字を用いて会員に説明し、総会で議決する必要がある。

[2022年度の支出について]

・2022年度の支出は予算案を上回ったが、これは主にICCE2025の対応のため。これを除いた支出額は、各委員会支出・名簿管理費・「比較内分泌学」冊子関連費用等の減少により、予算案より50万円程度少ない。

・HP維持管理費は大幅に増えたが（予算案1万円→実際の支出14万円）、これは機能拡充のためであり、現状十分にペイしている。次年度予算案でも10万円を計上する。

審議事項

また、予算案の提案があり、以下の修正を含み、出席幹事過半数の賛成により、総会への提出が承認された。

[2024年度予算案について]

・総会資料の”男女共同参画委員会”を”D&I委員会”に修正すること（※修正した物を総会では提示した）。

・「比較内分泌学」の印刷製本は1500円/頁の契約で、計上した予算（25万円）で最大150ページまで対応可能。

・ワークショップ費用について：今年は開催しないため不要。

→総会では原案を提示し、後に実施状況を報告することとする。

・多額の余剰金（上記参照）があるため、予算案から足が出ても対応可能&翌年度予算案策定時に実績としてカウントできるので、各委員会は積極的に予算を使用してほしい。

5. 名誉会員の推薦

神田庶務幹事より、日本比較内分泌学会会則第 8 条に基づき、竹井祥郎会員が幹事会から名誉会員に推薦することが提案された。出席幹事過半数の賛成により、総会への推薦が決定した。

6. 会費滞納会員の会員資格停止

神田庶務幹事より、会則に基づいた会費滞納会員の資格停止について、議案があった。出席幹事過半数の賛成により、資格停止が承認された。

また、卒業した学生などの退会手続きを遅滞なく行うよう要請があった。

報告事項

7. 九州大会準備状況

荻野大会長より、順調に準備が進み、開催されることが報告された。

8. 2024 年以降の大会

[2024 函館大会]

井尻大会長より、準備状況の報告があった。

・日程：未定。今年よりは早く開催したい。9 月は他学会と重なる、10 月は北海道観光のハイシーズン、11 月は寒いことなどを考慮すると、8 月が候補。

・場所：北大水産学部の大講堂（最大収容定員 280 名程度）

・懇親会：詳細未定（ちなみに、今回の九州大会は 109 名が参加）

9. ICCE19 準備状況

・資料に示されたとおりの報告があった

※項目 3 の「本大会」は、今回の九州大会を指す。

総会の議題は以下の通り。
審議事項はすべて承認された。

日本比較内分泌学会

総会

2023年11月18日土曜日

11時00分～12時00分

九州大学西新プラザ

議事次第

- 1) 会長挨拶
- 2) 大会長挨拶
- 3) 会員異動（庶務幹事）
- 4) 2023 年度事業活動報告（庶務幹事）
- 5) 各種委員会報告（各委員長）
 - ・ 学術企画委員会
 - ・ 若手交流委員会
 - ・ 出版委員会
 - ・ 学術誌編集委員会
 - ・ ホームページ委員会
 - ・ 男女共同参画委員会
 - ・ 国際委員会
 - ・ 生物科学学会連合委員会
 - ・ 将来構想委員会
 - ・ 学会賞選考委員会
- 6) 2023 年度中間決算報告（亀井会計委員長）
- 7) 2022 年度決算（亀井会計委員長） 審議事項
- 8) 同監査報告（松田監事、安田監事） 審議事項
- 9) 2024 年度事業計画（庶務幹事） 審議事項
- 10) 2024 年度予算案（亀井会計委員長） 審議事項
- 11) 名誉会員の推薦（庶務幹事） 審議事項
- 12) 会費滞納会員の会員資格停止（庶務幹事） 審議事項
- 13) 函館大会準備状況（井尻大会長）
- 14) 2025 年度以降の大会（庶務幹事）
- 15) ICCE19 について（高橋組織委員長）
- 16) その他

会 員 異 動

日本比較内分泌学会会員数

名誉会員： 20 名、一般会員： 252 名、学生会員：131 名、会員合計：403 名

賛助会員： 5 社 (2023 年 10 月 28 日現在)

新入会員 (一般会員： 10 名、学生会員： 38 名、合計 48 名)

(2022 年 10 月 23 日～2023 年 10 月 30 日)

学生	吉野瑞希	九州大学大学院
学生	吉原佑哉	九州大学大学院生物資源環境科学府
学生	Galotta Mariel	九州大学
学生	佐久間瑞穂	早稲田大学
学生	丹羽大樹	総合研究大学院大学・遺伝研
一般	謝 家暉	九州大学農学研究院 附属国際農業教育・研究推進センター
学生	東坂和樹	北大院・水産
学生	井上 遼太郎	東京大学
一般	清家瞳	東京大学

学生	上原峻ヶ二一	東京大学
	CARRANZA	
学生	Jose	名古屋大学
学生	吉原佑哉	九州大学大学院
	Barnuevo	Department of Marine Biology, Graduate School of
学生	Kyle	Agriculture, Kyushu University
学生	山本翔海	宮崎大学農学部
学生	吉野瑞希	九州大学
学生	滝沢麻里奈	名古屋大学
学生	大塚 舞	岡山大学
学生	鬼頭歩夢	富山大学理学部生物学科
学生	大井真人	鹿児島大学
一般	早坂 央希	金沢大学
一般	中村 亮太郎	沖縄科学技術大学院大学・進化神経生物学ユニット
	Chakraborty	
一般	Tapas	九州大学
学生	五十嵐裕太	富山大学
学生	久保 海和	長崎大学

一般	村田 良介	長崎大学環東シナ海環境資源研究センター
学生	鶴貝優梨花	横浜市立大学
学生	八尋 逸清	九州大学
学生	高赫	北海道大学水産科学院
学生	谷津田千理	慶應義塾大学
学生	矢部りさ	静岡大学大学院
学生	齋藤 祐希	宇都宮大学大学院地域創生科学研究科工農総合科学専攻
学生	葛西 峻	宇都宮大学大学院地域創生科学研究科工農総合科学専攻
一般	本郷 やよい	OIST
学生	鳴海輝	富山大学
学生	関 椋太	富山大学
一般	中島忠章	横浜市立大学
一般	岩越 栄子	広島大学大学院統合生命科学研究科
学生	伊藤嘉穂	横浜市立大学大学院
学生	小笠原彩乃	広島大学
学生	岸田すみれ	横浜市立大学
学生	佐藤 丈生	北海道大学
学生	國行亜紀	東京理科大学

学生 山崎 翔 東京理科大学 先進工学研究科 生命システム工学専攻

学生 石川真湖 東京理科大学

学生 武田博香 横浜市立大学大学院

一般 梶山十和子 理化学研究所

学生 白水 開 早稲田大学先進理工学研究科生命理工学専攻

学生 末森 みなみ 早稲田大学先進理工学研究科生命理工学専攻

退会者 (16名) (2022年10月23日~2023年10月30日)

渡部大河、田中美咲妃、毛利有沙、岡本啓吾、中島啓、行俊由仁、顧文彬、中村光太郎、米山寛子、伊藤丈浩、千葉篤彦、江副巧真、大原倫仁、濱本明恵、野津了、河野智哉

名 誉 会 員

(故) Gorbman, Aubrey (2003年9月21日逝去/享年88才)

(故)鈴木善祐 (2005年1月4日逝去)

(故)日比谷 京 (2005年4月25日逝去)

(故)吉村不二夫 (2009年5月3日逝去)

(故)玉置文一 (2011年10月26日逝去)

(故) Bern, Alan Howard (2012年1月3日逝去/享年91才)

(故)大西英爾 (2012年9月25日逝去/享年87才)

(故)小林英司 (2012年12月24日逝去/享年93才)

(故)能村哲郎 (2015年3月13日逝去/享年84才)

(故)加藤順三 (2018年8月27日逝去/享年88才)

(故)小黒千足 (2019年12月13日逝去/享年89才)

(故)小川瑞穂 (2021年7月23日逝去/享年90才)

(故)會田勝美 (2023年1月8日逝去/享年78才)

田名部雄一 (2005年3月22日より)

石居 進 (2007年3月18日より)

中嶋暉躬 (2008年1月16日より)

新井康允	(2008年2月4日より)
若林克己	(2009年7月13日より)
菊山 榮	(2010年11月20日より)
井上金治	(2018年11月10日より)
浦野明央	(2018年11月10日より)
川内浩司	(2018年11月10日より)
長濱嘉孝	(2018年11月10日より)
平野哲也	(2018年11月10日より)
和田 勝	(2018年11月10日より)
安部眞一	(2019年11月 9日より)
大石 正	(2019年11月 9日より)
高杉 暹	(2019年11月 9日より)
内山 実	(2020年12月11日より)
野崎眞澄	(2020年12月11日より)
山本和俊	(2020年12月11日より)
井口泰泉	(2021年11月13日より)

賛 助 会 員

公益財団法人サントリー生命科学財団

全薬工業株式会社

株式会社蛋白精製工業

株式会社ヤヨイサンフーズ

尾崎理化株式会社

2023 年度事業報告

(1) 役員会と総会の開催（役員会は本会議 1 回、その他適宜メール決議）

(2) 生物科学学会連合への協力

（生物科学学会連合委員会からの報告と関連）

(3) 男女共同参画連絡会議への出席

（男女共同参画委員会からの報告と関連）

(4) 学会誌「比較内分泌学」（48,49 巻、176-177 号）の発行

（学術誌編集委員会からの報告と関連）

(5) ホームページ管理・運営

（ホームページ委員会からの報告と関連）

(6) 学会賞の選考・授賞

（学会賞選考委員会からの報告と関連）

(7) 第 46 回日本比較内分泌学会東京大会の開催

第 46 回日本比較内分泌学会シンポジウムの開催

学術企画委員会によるワークショップの開催

若手企画シンポジウムならびに若手交流会の開催

男女共同参画ランチョンセミナーの開催

各委員会報告

・学術企画委員会（佐竹炎委員長）

第 47 回日本比較内分泌学会大会の学術企画委員会主催シンポジウム「性決定機構の比較動物学」を企画した。オーガナイザーに森山隆太郎（近畿大学）、吉田彩舟（東京慈恵会医科大学）、上野山賀久（名古屋大学）の 3 氏を選任し、荻野 由紀子（九州大学大学院農学研究院）、伊藤 道彦（北里大学理学部）、鈴木雅京（東京大学大学院新領域創成科学研究科）、諸橋 憲一郎（久留米大学医学部）の 4 氏にご講演をいただくこととした。

・若手交流企画委員会（小林委員長）

若手交流企画“ピックアップ！内分泌研究者”を学会 HP に連載、HP 委員会の協力のもと 2 ヶ月おきに更新。具体的には、2023 年 11 月末までに 32 名を紹介した（2023 年度 12 名）。2023 年度大会の若手交流企画シンポジウムのオーガナイザーとして、池上太郎（琉球大学）、鹿野健史朗（大分大学）、前嶋翔（近畿大学）の 3 氏を選任。岡香織（熊本大学）、戸田知得（熊本大学）、宮西弘（宮崎大学）の 3 氏を演者として選出し、若手研究者のさらなる交流、本学会への会員登録の増加を目指し、若手交流企画シンポジウムの企画を進めた。

・出版委員会（天野委員長）

今年度は今後の出版計画について議論した。その結果、中学・高校生向きに比較内分泌学の面白さを伝えるための本が良いとの方向性が示された。新書版クラスのもので、教科書的なものではなく「ある生命現象にホルモンがかかわっている」というトピックス的なイメージである。一般向けの「生命をあやつるホルモン」が出版されてから 20 年以上が経過したので、タイミング的にも良いと思われる。

・学術誌編集委員会（原口委員長）

① 比較内分泌学 Vol.48、No.176（2022 年 8~2023 年 3 月の 7 か月分、20 記事）の発行を行った。比較内分泌学 Vol.48、No.177 については、比内大会・

九州大会分を含め発行予定。

- ② 比較内分泌学の J-STAGE への掲載について、巻号・ページ番号を通し番号としていたシステムから、巻号・記事番号制としてことで全ての記事が 1 頁から開始されることになり、J-STAGE サイトから DOI の自動生成ができずアップロードに支障が出ていた。国会図書館と JST・J-STAGE センターに対応策について相談し、J-STAGE センターに非定型作業依頼を行い DOI 組み立てルールの修正を行ってもらいアップロードができるようになった。

参考：「巻.号_開始ページ」型 ⇒ 「巻.号_開始ページ_連番」型へ変更

・ホームページ委員会（馬谷委員長）

- ・日本比較内分泌学会ニュース No.176, 177 の記事 PDF を JSCE-HP 会員限定ダウンロードサイトに掲載した。
- ・若手交流企画委員会による「ピックアップ！内分泌研究者」No.18-30（2023 年 11 月 1 日現在）、大会情報を JSCE-HP に掲載した。
- ・JSCE-HP を改修し、会員向け資料ダウンロードから北海道大学名誉教授・浦野明央先生の講義資料「細胞社会のコミュニケーション全 12 回」を会員限定でダウンロード可能にした。

・HP の学会賞のページに受賞時に寄稿される GCE 総説のリンクを入れる予定。

・ダイバーシティー&インクルージョン委員会（岡田委員長）

1. 第 47 回日本比較内分泌学会九州大会におけるダイバーシティー&インクルージョンセミナーの企画

ダイバーシティー&インクルージョンセミナー「男女共同参画の理想と現実とできること」を企画した。須藤雄気教授（岡山大学・第 20 期男女共同参画学協会連絡会 理事/副委員長）と東村博子会員（名古屋大学・多様性・男女共同参画担当副総長）にご講演いただくこととした。

2. 第 46 回日本比較内分泌学会東京大会における男女共同参画セミナーに関する情報共有

男女共同参画セミナー「無意識のバイアスを克服するために」の講演者の大坪久子教授（日本大学）と裏出令子教授（京都大学）に提供していただいた講演関係資料および Q&A を学会 HP で公開した (<https://www.jsce1975.jp/sankaku.html>)。

3. 男女共同参画学協会連絡会運営委員会への出席

第 21 期定時総会+第 1 回運営委員会 (2022 年 12 月 14 日)、第 2 回運営委員会 (2023 年 3 月 27 日)、および第 3 回運営委員会 (2023 年 8 月 30 日) に出席した (いずれも Zoom 会議)。

4. 第 21 回男女共同参画学協会連絡会シンポジウムへの参加

2023 年 10 月 14 日に開催されたシンポジウムに参加した (オンライン)。

- ・ 国際委員会 (浮穴委員長)

今後の国際会議についての情報

The International Symposium on Avian Endocrinology (ISAE2024)
Meerut, India, March 17-22, 2024

31st Conference of European Comparative Endocrinology (31st CECE)
Ancona, Italy, September 1-5, 2024

10th International Symposium on Fish Endocrinology (10th ISFE)
Baltimore, USA, September 15-19, 2024

9th Congress of the Asia Oceania Society for Comparative Endocrinology (9th AOSCE)
Bogor, Indonesia, 2024

19th International Congress of Comparative Endocrinology (ICCE19)
Sendai, July 8-12, 2025

The International Congress of Neuroendocrinology (ICN2026)
Nagoya, July, 2026
<https://www.inf-neuroendocrinology.org/>

- ・ 生物科学学会連合 (兵藤会長)

生物科学学会連合 第 26 回定例会議 (2022 年 11 月 28 日(月)14:00-16:00、

東京大学理学部 2 号館) 出席

生物科学学会連合 第 27 回定例会議 (2023 年 3 月 28 日(火)15:00-17:00、東京大学農学部 2 号館) 出席

・将来構想委員会 (大久保委員長)

今年度は特段の活動を行わなかった。一昨年度に学会賞の選考基準を見直したが、今年度の学会賞の選考結果をみると、見直した選考基準がしっかり機能していると考えられた。

・学会賞選考委員会 (高橋委員長)

2023年度学会賞選考委員会の審査結果報告

2023年度の学会賞に対して、小林賞に1件、奨励賞に2件の応募があった。この応募を受け、9月12日、選考委員会委員 (高橋明義 (委員長)、浮穴和義、海谷啓之、佐竹炎、東村博子) 5名全員でWeb会議を行い、慎重に審議を行った結果、2名に奨励賞を授賞するという結論に全員一致で至ったことを推薦理由と共に報告する。

1.小林賞選考について

今年度の小林賞については、1件の応募があった。これを表彰規程およびその細則に則って慎重審議した結果、細則に明記されている「原則として、今後の比較内分秘学や本学会を牽引していくことが期待される現役の会員に授与する」に悖るとの意見で一致した。よって2023年度小林賞は該当者なしとの結論に至った。

2.奨励賞選考について今年度の奨励賞については、2 件の応募があった。両応募者とも、表彰規程にある奨励賞の要件「比較内分泌学の研究を活発に行い、将来の発展が強く期待される学会正会員」であり、中堅会員として本学会を牽引することが期待されることに意見の一致を見た。議論の結果、細則では「受賞者は原則1 名とする」とあるが、これまでの事例で2 名を受賞者とした経緯を考慮して両者とも奨励賞に相応しいものと判断し、2023 年度奨励賞を両者に授与することを委員会の結論とした。

奨励賞受賞者: リージョナルフィッシュ株式会社大賀浩史博士

受賞研究題目「水産有用種マサバの初回成熟を制御する生殖内分泌機構に関する研究」

大賀会員はマサバを研究対象として、初回成熟における脳-脳下垂体-生殖腺を繋ぐ生殖内分泌軸の調節機構に関する研究を精力的に進めてきた。調節に係わる各種ホルモンのなかでキスペプチンとレプチンの機能は従来知見とは異なることを明らかにし、魚類における生殖内分泌制御機構の多様性を提示した。本学会においては研究発表を積極的に行っており、シンポジウムにも招待されるなど業績が高く評価されていることから、今後は本学会での運営や企画に関わるなど

すますの活躍を期待する。

奨励賞受賞者: National Institute of Health 谷崎祐太博士

受賞研究題目「組織・器官の発生における甲状腺ホルモン機能の研究」

谷崎会員は比較生物学的なアプローチを通じて、組織・器官発生におけるホルモンの機能解明に取り組んできた。造血サイトカインによる造血発生の研究や甲状腺ホルモンによって制御される器官・組織構築に関する研究は国内外で高く評価されている。「比較内分泌学」には原著論文紹介や学会印象記に加えて留学先を紹介するエッセイを寄稿している。また若手研究者として北米比較内分泌学会の運営に携わっており、海外から本学会を刺激している。今後、学会の発展にますます貢献することを期待する。以上

(文責) 選考委員会委員長

高橋明義

・会計報告（亀井会計委員長）

日本比較内分秘学会 2023年度中間決算報告（9/30時点の収支：予算案との比較）

（単位：円）

[収入の部]	2023年9月30日時点	2023年度予算案
前年度からの繰越	¥5,115,985	¥4,800,000
当年度の収入	¥756,000	¥2,000,000
計	¥5,871,985	¥6,800,000

(当年度の収入内訳)			
個人会員会費	一般113件、学生47件	¥706,000	¥1,700,000
賛助会員会費	1件	¥50,000	¥200,000
その他	刊行物複写使用料	-	¥100,000
寄附金		-	¥0
計		¥756,000	¥2,000,000

[支出の部]	2023年9月30日時点	2023年度予算案
当年度の支出	¥358,460	¥1,900,000
次年度への繰越		¥4,900,000
計		¥6,800,000

(当年度の支出内訳)			
学会誌関連費	印刷製本費	¥127,875	¥250,000
	冊子配送費	-	¥5,000
ホームページ維持・更新費		¥28,800	¥100,000
事務局経費	文具、複写代、封筒印刷費等	-	¥100,000
	郵送費	-	¥10,000
	振込手数料	¥1,485	¥5,000
	交通費	-	¥20,000
	名簿・会計管理	¥118,800	¥400,000
	献花代（會田勝美名誉会員葬儀）	¥16,500	-
会費	生物科学学会連合会費	¥50,000	¥50,000
	男女共同参画協会連絡会分担金	¥10,000	¥10,000
	IFCES会費*	-	¥0
大会補助費	第46回大会 準備費	-	¥400,000
学術企画委員会関連補助費	ワークショップ開催補助費	-	¥50,000
	シンポジウム関連費	-	¥100,000
Diversity&Inclusion委員会関連補助費		-	¥100,000
若手交流企画委員会関連補助費		-	¥100,000
学会賞副賞費		-	¥100,000
選挙関連費		-	¥0
若手研究者奨励費		-	¥100,000
その他	余利会費の返納	¥5,000	-
次年度への繰越		¥5,513,525	¥4,900,000
計		¥5,871,985	¥6,800,000

*IFCES会費は国際会議がある年（約4年に一度程度）に請求される

(審議事項)

日本比較内分泌学会 2022 (令和4) 年度 決算報告

【収入の部】

前年度からの繰越		¥5,515,308
当年度の収入		¥2,034,658
	計	¥7,549,966

(当年度の収入内訳)

個人会員会費	一般会員204件、学生会員62件	¥1,206,000
賛助会員会費	3件	¥150,000
その他	刊行物複写使用料	¥520,084
寄附金	第46回東京大会実行委員会	¥158,574
	計	¥2,034,658

【支出の部】

当年度の支出		¥2,433,981
次年度への繰越		¥5,115,985
	計	¥7,549,966

(当年度の支出内訳)

学会誌関連費	印刷製本費 (vol. 47, No. 174号)	¥53,625
	配送関連費	¥0
ホームページ維持・拡張経費		¥143,530
事務局経費	封筒印刷費、複写代等	¥0
	郵送費	¥5,810
	振込手数料	¥4,169
	交通費	¥0
	名簿・会費管理	¥226,952
会費	生物科学学会連合会費	¥50,000
	男女共同参画協会連絡会分担金・資料集掲載金	¥12,000
	IFCES会費 (2018-2022年)	¥0
大会補助費	第46回東京大会	¥400,000
学術企画委員会関連補助費	ワークショップ開催補助費	¥0
	シンポジウム関連費	¥17,474
男女共同参画委員会関連補助費		¥71,280
若手交流企画委員会関連補助費		¥48,559
学会賞副賞費		¥70,076
若手奨励事業費		¥12,000
選挙関連費		¥66,000
ICCE19th開催の準備費 (第46回大会からの寄付金)		¥158,574
特別経費(ICCE19th用)		¥1,093,932
	計	¥2,433,981


以上相違ありません。

令和5年 10月 1日 会計委員長 亀井宏泰 (金沢大学)

亀井宏泰 

監査を行い、相違ないことを確認しました。

令和5年 10月 12日 監事 松田学 (近畿大学)

松田学 

令和5年 10月 22日 監事 安田恵子 (奈良女子大学)

安田恵子 

(審議事項)

2024 年度事業計画案

- (1) 次期大会（函館）における役員会、総会の開催
- (2) 学会誌「比較内分泌学」50 巻の発行
- (3) オンライン名簿・会費管理システムの運用
（事務局経費、名簿・会費管理、委託管理費）
- (4) ホームページ管理・運営（維持費）
- (5) 国際比較内分泌学会議での活動（IFCES 会費）
- (6) 生物科学学会連合定例会議への出席（連合会費）
- (7) 男女共同参画連絡会議への出席（分担金）
- (8) 第 48 回日本比較内分泌学会（函館）大会の開催（補助費）
- (9) 第 48 回日本比較内分泌学会シンポジウムの開催（補助費）
- (10) 若手企画シンポジウムならびに若手交流会の開催（補助費）
- (11) 男女共同参画ランチョンセミナーの開催（補助費）
- (12) 役員選挙の実施（選挙関連費）
- (13) 若手研究者奨励費（補助費）
- (14) 学会賞の選考、授賞（賞状と副賞）
- (15) 国際比較内分泌学会議（ICCE19）開催の準備継続

(審議事項)

日本比較内分泌学会 2024年度予算案

(単位：円)

[収入の部]		2024年度予算案	2023年度予算案
前年度からの繰越		¥5,000,000	¥4,800,000
当年度の収入		¥2,000,000	¥2,000,000
	計	¥7,000,000	¥6,800,000
(当年度の収入内訳)			
個人会員会費		¥1,700,000	¥1,700,000
賛助会員会費		¥200,000	¥200,000
その他	刊行物複写使用料	¥100,000	¥100,000
寄附金		¥0	¥0
	計	¥2,000,000	¥2,000,000
[支出の部]			
当年度の支出		¥2,000,000	¥1,900,000
次年度への繰越		¥5,000,000	¥4,900,000
	計	¥7,000,000	¥6,800,000
(当年度の支出内訳)			
学会誌関連費	印刷製本費	¥250,000	¥250,000
	冊子配送費	¥5,000	¥5,000
ホームページ維持・更新費		¥100,000	¥100,000
事務局経費	文具、複写代、封筒印刷費等	¥100,000	¥100,000
	郵送費	¥10,000	¥10,000
	振込手数料	¥5,000	¥5,000
	交通費	¥20,000	¥20,000
	名簿・会計管理	¥400,000	¥400,000
会費	生物科学学会連合会費	¥50,000	¥50,000
	男女共同参画協会連絡会分担金	¥10,000	¥10,000
	IFCES会費*	¥0	¥0
大会補助費	第46回大会 準備費	¥400,000	¥400,000
学術企画委員会関連補助費	ワークショップ開催補助費	¥50,000	¥50,000
	シンポジウム関連費	¥100,000	¥100,000
Diversity&Inclusion 委員会関連		¥100,000	¥100,000
補助費若手交流企画委員会関連		¥100,000	¥100,000
補助費学会賞副賞費		¥100,000	¥100,000
選挙関連費		¥100,000	¥0
若手研究者奨励費		¥100,000	¥100,000
次年度への繰越		¥5,000,000	¥4,900,000
	計	¥7,000,000	¥6,800,000

*IFCES会費は国際会議がある年(約4年に一度程度)に請求される。

(審議事項)

名誉会員の推薦

日本比較内分泌学会会則 第 8 条

名誉会員は満 70 才以上で、本会の目的に関連して、特に貢献のあったもの、会長を務めたもの、大会を開催したもの、または役員を 10 年以上務めたもの（過去の会員を含む）から幹事会が推薦し、総会の承認によって決定される。

被推薦者

被推薦者 1 名（五十音順、敬称略）

竹井 祥郎（たけい よしお） 昭和 26(1951)年 4 月 18 日生（72 歳）

2013-2016 年 会長

2019 年小林賞

[提案者] 海谷 啓之（(株) グランソール免疫研究所）

(審議事項)

会費滞納会員の会員資格停止

会則第 13 条「本会の規約にそむく行為、または会費未納のあった時は幹事会及び総会の決議を経て除名できる。」に準拠し、3 年以上の会費未納がある正会員ならびに学生会員を資格停止とする。資格停止中は、本会会員としての権利（会長ならびに幹事の選挙権と被選挙権、大会における研究発表、学会誌の購読）を行使できない。

資格停止対象者：20 名

2023 年 12 月 31 日までに会費が納入されない場合、資格停止対象者の会員資格を 2024 年 1 月 1 日から停止する。

・九州大会準備状況（荻野大会長）

2023 年度九州大会の準備状況

大会長：荻野由紀子（九大・院農）

大会実行委員会案：太田耕平（九州大学）、Tapas Chakraborty（九州大学）、William KF Tse（九州大学）、Sipra Mohapatra（九州大学）、北野 健（熊本大学）、岸田光代（熊本大学）、鹿野健史朗（大分大学）小沼 健（鹿児島大学）、宮川信一（東京理科大学）、豊田賢治（金沢大学）

会場：九州大学 西新プラザ（224 名収容可）

日程案：

11 月 17 日（金）、18 日（土）、19 日（日）

プログラム案：以下の通り

初日（金）

12:00-15:00 役員会

- 15:00-15:10 開会式
- 15:20-17:00 フラッシュトーク
- 17:00-19:00 若手企画シンポジウム
- 19:20-21:00 若手企画シンポジウム懇親会

2 日目 (土)

- 9:30-11:30 大会実行委員会主催シンポジウム
- 11:40-13:10 総会・学会賞授与式
- 13:10-14:10 昼休み (男女共同参画ランチョンセミナー)
- 14:10-15:50 若手口頭発表 (優秀発表賞対象者)
- 16:00-18:20 ポスター発表
- 18:30-20:30 懇親会 (生協)

3 日目 (日)

- 9:30-11:30 学術企画委員会主催シンポジウム
- 11:40-12:40 学会賞受賞者講演
- 12:50-13:00 閉会式

・ 2024 年度以降の大会（庶務幹事）

1. 2024 年度は、函館で開催（北海道大学、井尻大会長）。
2. 2025 年度については ICCE との合同大会として仙台国際センターで開催。
3. 2026 年度は 50 回大会なので、少し特別な企画も計画する可能性がある。

・ ICCE19 準備状況（高橋組織委員長）

1. 会期を 2025 年 7 月 8 日（火）～12 日（土）の 5 日間とする。
2. 場所は従前どおり仙台国際センターとする。
3. 本九州大会終了後 11 月 19 日（日）に実行委員会を開催する。